

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-1	農業生産者育成・支援事業	担当課	産業課
			作成者	川端 祐美
施策体系	総合計画上の施策名	23	生産基盤の整備と農業を支える人材育成の推進	
	施策名(評価単位)	(21)	生産基盤の整備と農業を支える人材育成の推進	

2. 事務事業の目的	地域農業の振興を促すため、農業生産者や農業組織等の活動を支援します。
------------	------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県信用農業協同組合連合会に対し、農業企業化利子補給金(4件分)を交付しました。 農業再生協議会(行政と農業者団体等の連携体制)に対し、活動補助金909千円を交付しました。 農業生産者団体(6団体)に対し、活動補助金95千円を交付しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	2,028,015	2,040,554	1,936,037	3,678,000	
② 人件費	1,200,000	1,875,000	1,875,000	1,425,000	
③ 合計コスト ①+②	3,228,015	3,915,554	3,811,037	5,103,000	
前年度比(%)		121.3%	97.3%	133.9%	
財源内訳	国・県支出金	850,000	957,000	909,000	873,000
	市債		0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	2,378,015	2,958,554	2,902,037	4,230,000
④ 活動一単位当たりコスト	269,001.3	279,682.4	317,586.4	425,250.0	
前年度比(%)		104.0%	113.6%	133.9%	
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	令和4年度は、農業企業化利子補給金の申請見込みの増加により増となる見込みです。				

(3) 活動指標	指標名	農業経営改善計画認定数(認定農業者数)				単位:	名
	指標説明	農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画の認定数(認定農業者数)					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	12	14	12	12		

(4) 成果指標	指標名	米の生産数量目標		単位:	ha	評価:	+
	指標説明	国の米生産数量目標等に対する水稻作付の実績面積					
	目標値の設定方針	国が定める「米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針」による					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	目標値	146	146	146	146		
	実績値	130	118	109			
達成度(%)	89.0%	80.8%	74.7%				

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 各地区の農事改良組合を構成する農家数が減少し、組合存続が困難な状況にあります。 農業者の経営規模拡大等を盛り込んだ経営改善の認定件数(認定農業者数)について2件の新規認定がありましたが、高齢を理由に更新しない農業者が出てきています。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者及び新規就農者数を増加させるため、農家支援制度等の周知に努めます。 農業生産団体の自立を促すため、活動補助金を減額するとともに、交付団体の精査を行います。 集落営農組織の設立に向け、問題や課題を抱える地域等を担当者が訪問し、現状等を話し合い、設立に向けた問題や課題を整理します。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
<ul style="list-style-type: none"> 各地区の農事改良組合は農家と行政、農業協同組合等とを結ぶ重要な組織として位置づけ、組織を存続させます。 認定農業者や新規就農希望者を確保し、農地の利用集積を進めます。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-2	農地の保全・集積事業	担当課	産業課
			作成者	佐藤 克利
施策体系	総合計画上の施策名	23	生産基盤の整備と農業を支える人材育成の推進	
	施策名（評価単位）	(21)	生産基盤の整備と農業を支える人材育成の推進	

2. 事務事業の目的	農地制度を円滑に実施するため、自作農財産の適正な処分や農地の利用関係の調整、遊休農地解消に向けた取り組みを進めます。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	国有農地5箇所の除草と農地台帳システムの入力作業を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	1,427,216	1,278,907	1,097,836	1,187,000	
② 人件費	4,800,000	4,875,000	4,875,000	6,000,000	
③ 合計コスト ①+②	6,227,216	6,153,907	5,972,836	7,187,000	
前年度比（％）		98.8%	97.1%	120.3%	
財源内訳	国・県支出金	863,000	1,107,850	1,097,836	941,924
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,364,216	5,046,057	4,875,000	6,245,076
④ 活動一単位当たりコスト	16,561.7	16,366.8	13,762.3	16,714.0	
前年度比（％）		98.8%	84.1%	121.4%	
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	R4年度については人件費の見直しにより増加となりました。				

(3) 活動指標	指標名	自作農地解消率			単位：	ha
	指標説明	自作農地のうち未貸付農地面積				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	376	376	434	430	

(4) 成果指標	指標名	定住センター利用者数			単位：	人	評価：	+
	指標説明	定住促進センター（集会所、和室、調理室、図書室）の延べ利用人数						
	目標値の設定方針							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値	5,540	5,540	5,540	5,540			
	実績値	1946	1654	1520				
達成度（％）	35.1%	29.9%	27.4%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価		A	
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No					
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No					
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No					
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No					

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 処分が進まない自作農財産の除草を行ない、適正な維持管理を行いました。 農地制度を所管する農業委員会が農地制度を円滑に実施できるよう、農地の利用関係調整を一層推進する必要があります。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<ul style="list-style-type: none"> 自作農財産の処分については、県と連携を図りながら進めます。 農地等の利用関係をめぐる紛争について、和解の仲介や権利移動の許可取り消し等による斡旋等を進めます。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤 裕之
<ul style="list-style-type: none"> 農地制度の適切な運用を図るため、農地台帳システムの適切な管理運用に取り組みます。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（建設事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-3	農業施設整備・維持管理事業	担当課	産業課
			作成者	佐藤英男
施策体系	総合計画上の施策名	23	生産基盤の整備と農業を支える人材育成の推進	
	施策名（評価単位）	(21)	生産基盤の整備と農業を支える人材育成の推進	

2. 事務事業の目的	農業生産活動を向上させるため、用水や農道の維持管理を図る。また、農業施設の近代化や農村環境の改善・維持管理を図る。
------------	---

3. 事務事業の実績				
(1) 事業の必要性（当初計画時）	農業施設（用水・農道・頭首工・揚水機・パイプライン等）の健全な状態を確保・維持・向上を図ります。			
(2) 事業の全体計画	予定全体事業費（単位：円） 【A】		事業実施期間	
	事業概要	農業施設の機能を確保するため農業団体や自治会からの要望を受け必要性の高い箇所から順に改修・修繕を実施します。		
(3) 事務事業実施にかかるコスト 単位：円				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 事業の実施内容	農業施設の状況確認、点検、地元調整 修繕箇所N=9箇所 農道舗装N=1箇所	農業施設の状況確認、点検、地元調整 修繕箇所N=9箇所	農業施設の状況確認、点検、地元調整 修繕箇所N=9箇所 農道舗装N=1箇所 ポンプ補修N=1箇所	農業施設の状況確認、点検、地元調整 修繕箇所N=7箇所 農道改良N=1箇所
② 直接事業費	6,949,068	2,778,400	14,368,200	8,258,000
③ 人件費	150,000	1,200,000	1,200,000	1,350,000
④ 合計コスト ②+③	7,099,068	3,978,400	15,568,200	9,608,000
前年度比		56.0%	391.3%	61.7%
財源内訳	国・県支出金	1,587,080		1,320,000
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	5,511,988	3,978,400	14,248,200
⑤ 進捗率 (%)				
⑥ 進捗率：金額②÷【A】 (%)				
⑦ 特記事項	1箇所当りの工事費に変動があるため前年度比の増減が大きくなります。R3年度は、ポンプ補修があったため事業費が増となります。			

4. 事務事業の評価		
(1) 事業を取り巻く環境の変化（当初計画時における環境との対比）	今まで	特になし
	今後	農業従事者の減少により農業団体の弱体化が進み市内農業が衰退傾向にあります。
(2) 現状と課題の認識	農業後継者が少なくなり農業団体が弱体化しているため地元負担金の必要な農業整備は、実施困難な場合があります。	

5. 課題への対応策	
農業後継者の育成や、農業団体への支援を進めながら農業施設整備を行います、また事業で実施すべきものと、地元農業団体が、道普請で実施したほうがよいものがあり、その都度協議していきます。	

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
今後も要望に応じ用排水路修繕・浚渫、農道、パイプライン、揚水機等の修繕を推進していきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-4	道普請事業	担当課	産業課
			作成者	平田 匠
施策体系	総合計画上の施策名	23	生産基盤の整備と農業を支える人材育成の推進	
	施策名(評価単位)	(21)	生産基盤の整備と農業を支える人材育成の推進	

2. 事務事業の目的	農道や用排水路などの修理・草刈等の市民協働活動を支援し、農業施設の維持修繕費を縮減するとともに住民自らの手で生活環境を良好に保全することにより地域の自治力を高めます。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	申請箇所 n = 14件 用水路修繕、除草、農道舗装等

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	418,496	790,452	587,912	670,000
② 人件費	1,125,000	750,000	750,000	750,000
③ 合計コスト ①+②	1,543,496	1,540,452	1,337,912	1,420,000
前年度比		99.8%	86.9%	106.1%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,543,496	1,540,452	1,337,912
④ 活動一単位当たりコスト	220,499.4	220,064.6	95,565.1	129,090.9
前年度比		99.8%	43.4%	135.1%
⑤ コストに関する増減理由	各年度直接事業費は地元の要望により変動があるため増減がありますが、令和4年度は増額する見込みです。			

(3) 活動指標	指標名	道普請申請箇所数			単位:	箇所
	指標説明	地域住民による管理施設の維持管理並びに修繕管理等の道普請箇所				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	7	7	14	11	

4. 評価・課題	
自治会長の任期が1年の場合が多く、道普請事業が十分に認識されていないため、活用してもらえないケースがあります。	

5. 具体的な改善内容		改善時期	令和4年4月
4月に自治会長へ道普請事業の案内と申請書を送付し周知します。毎年提出してもらう自治会要望の中から自治会で実施できそうなものをピックアップして、道普請事業で実施してもらえないか打診していきます。			

6. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	佐藤裕之
4月に自治会長へ制度の説明をしているため、道普請事業の活用が増加しています。農業施設の維持管理修繕費の縮減を目指し、道普請事業に多くの地域住民の参加を呼びかけ、引き続きこの事業の充実を図ります。			

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-5	有害鳥獣対策事業	担当課	産業課
			作成者	上仲 秀典
施策体系	総合計画上の施策名	23	生産基盤の整備と農業を支える人材育成の推進	
	施策名(評価単位)	(21)	生産基盤の整備と農業を支える人材育成の推進	

2. 事務事業の目的	鳥獣被害が増加しているため有害鳥獣を駆除し、生活環境及び農産物を守ります。
------------	---------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	<p>美濃市鳥獣被害対策実施隊によるパトロールのほか、野生鳥獣による被害防除を図るため、個人あるいは地域ぐるみで行う防護柵の設置に対し補助金を交付しました。また、捕獲活動を推進するため、捕獲奨励金を交付したり捕獲用具等の整備を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護柵整備 個人設置18件へ補助金交付（1/2位内） ・有害捕獲 ニホンザルほか 119頭・羽 ・ニホンジカ個体数調整捕獲 30頭

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	6,888,332	8,273,419	3,432,160	13,274,000	
② 人件費	1,200,000	2,250,000	1,725,000	1,725,000	
③ 合計コスト ①+②	8,088,332	10,523,419	5,157,160	14,999,000	
前年度比 (%)		130.1%	49.0%	290.8%	
財源内訳	国・県支出金	3,691,846	4,081,188	2,049,128	9,113,000
	市債	0		0	0
	その他特定財源	0		0	0
	一般財源	4,396,486	6,442,231	3,108,032	5,886,000
④ 活動一単位当たりコスト	475,784.2	328,856.8	286,508.9	749,950.0	
前年度比 (%)		69.1%	87.1%	261.8%	
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	令和4年度は、電柵及びサル檻を設置のため、コストは増額します。				

(3) 活動指標	指標名	防護柵設置補助件数				単位:	件
	指標説明						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	17	32	18	20		

(4) 成果指標	指標名	防護柵囲い面積				単位:	ha	評価:	+
	指標説明	有害鳥獣から守られた農地(田畑)面積							
	目標値の設定方針	前年度の防護柵囲い面積×100%							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	2	2	2	2				
	実績値	2.1	2	2					
達成度 (%)	105.0%	100.0%	100.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>令和3年度は県補助金でのワイヤーメッシュ柵及び電柵の設置はありませんでした。個人単位での電柵設置補助金により被害が軽減しました。一方、サルによる被害が減らないことから、自治会単位でのサル追い払い活動等への支援が必要です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<p>地域で侵入防止柵を設置した箇所については、柵の維持管理を適切に行う必要があります。(曾代、上河和、保木脇、富野、安毛、穴洞、蕨生、大矢田、須原地区)サルの被害で悩んでいる地域に対し、地域ぐるみでの追い払い対策の必要性や、活動への支援体制を説明し、サル追い払い隊の組織化を促します。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
<p>野生鳥獣による農作物への被害が深刻化しており、引き続き防除・捕獲の両面から対策をとる必要があります。また、捕獲に従事する者の高齢化を踏まえ、今後は狩猟免許の取得や、地域ぐるみでの捕獲・防除体制の確立を図ります。</p>		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 **3** 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-6	地域農業整備事業	担当課	産業課
			作成者	古田 基
施策体系	総合計画上の施策名	23	生産基盤の整備と農業を支える人材育成の推進	
	施策名(評価単位)	(21)	生産基盤の整備と農業を支える人材育成の推進	

2. 事務事業の目的	持続可能な地域農業の育成を目指し、農業経営体の確保及び農業経営体の施設整備を支援します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	・農家が農作物の品質向上や生産拡大を図るため農業施設（ビニールハウス）の設置や農業用機械購入経費の一部を補助する制度を3件の活用がありました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	228,028	39,494	245,000	10,950,000
② 人件費	1,200,000	1,500,000	1,500,000	1,275,000
③ 合計コスト ①+②	1,428,028	1,539,494	1,745,000	12,225,000
前年度比 (%)		107.8%	113.3%	700.6%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,428,028	1,539,494	1,745,000
④ 活動一単位当たりコスト	476,009.3	513,164.7	349,000.0	2,445,000.0
前年度比 (%)		107.8%	68.0%	700.6%
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	令和4年度は美濃市に2件のイチゴ農家（新規認定農業者）が就農し、ビニールハウスの建設を実施したため、予算が増加しました。			

(3) 活動指標	指標名	人・農地プラン策定地区数				単位:	地区
	指標説明	人・農地プラン策定地区単位数(変更除く)					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	3	3	5	5		

(4) 成果指標	指標名	農業施設設置件数				単位:	件	評価:	+
	指標説明	美濃市農業元気づくり補助金利用件数							
	目標値の設定方針	平成28年度実績+1							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	3	3	3	3				
	実績値	1	-	3					
達成度 (%)	33.3%	0.0%	100.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
・農業経営体の作業効率を一層高めるため、農地中間管理事業やめぐみの農協が行う農地集積円滑化事業等を利用し、農地集積を進める必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
・農地中間管理事業の周知を図り、担い手の登録件数を増大させます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
・農村地域の活性化を図るため、引き続き農業経営体への支援（施設整備、農地集積への支援）を続けます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-7	地産地消推進事業	担当課	産業課
			作成者	川端祐美
施策体系	総合計画上の施策名	24	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	
	施策名(評価単位)	(22)	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	

2. 事務事業の目的	地元農産物の消費拡大とブランド化の推進、安全・安心な農産物の利用促進を図るため、学校給食に県産品（農産物等）を使用する取り組みを支援します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県農業協同組合中央会が行う学校給食への県産農作物の供給活動に対し活動補助金(331,624円)を交付しました。 県産品(農産物)の供給先:美濃市学校給食センター、年間供給量:32,061kg 清流長良川の鮎をシンボルとする長良川中流域の農林水産業及び文化・生活等を、国連食糧農業機関が定める「世界農業遺産」に登録されたため、岐阜県をはじめ流域4市と関係団体で啓発活動(パネル展示等)を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	4,553,068	1,372,503	331,624	330,560	
② 人件費	1,200,000	1,125,000	1,125,000	750,000	
③ 合計コスト ①+②	5,753,068	2,497,503	1,456,624	1,080,560	
前年度比 (%)		43.4%	58.3%	74.2%	
財源内訳	国・県支出金	148,500	148,208	165,812	165,820
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,604,568	2,349,295	1,290,812	914,740
④ 活動一単位当たりコスト	5,753,068.0	2,497,503.0	1,456,624.0	1,080,560.0	
前年度比 (%)		43.4%	58.3%	74.2%	
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	R3年度より世界遺産推進事業費が美濃和紙推進課の管轄となったため事業費が減っています。令和4年度は、人件費の見直しにより減となりました。				

(3) 活動指標	指標名	食材供給先			単位:	箇所
	指標説明	学校給食センター数				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	1	1	1	1	

(4) 成果指標	指標名	年間供給数量		単位:	kg	評価:	+
	指標説明	学校給食センターにおける県内産農産物の供給総量					
	目標値の設定方針	前年度供給総量の105%					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	目標値	11,575	12,392	12,920	14,309		
	実績値	11,802	12,305	13,628			
達成度 (%)	102.0%	99.3%	105.5%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 学校給食に玄米や県内産野菜等を安価に供給できるようになり、地産地消を広く進めることができました。 地産地消をより一層広めるため、学校給食における県内産野菜等の導入を広くPRする必要があります。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<ul style="list-style-type: none"> 県産農作物を学校給食に使用していることを献立表に記載するなど、広く周知をすることで認知度を高め、さらなる県産農作物の利用を促します。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
<ul style="list-style-type: none"> 少年期からの食農教育を推進することは、将来にわたり県産農作物への愛着を高めるとともに、継続的な消費拡大につながるため、引き続き学校給食での県産農作物の提供を行います。 平成27年12月に「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に登録されたことで、そのブランド価値を高める取り組みを進めます。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-8	仙寿菜ブランド化事業	担当課	産業課
			作成者	川端 祐美
施策体系	総合計画上の施策名	24	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	
	施策名(評価単位)	(22)	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	

2. 事務事業の目的	地域農業の活性化に寄与するため、美濃市の特産品として「仙寿菜」のブランド化を進めます。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> 仙寿菜の生産促進と販売拡大を図るため、仙寿菜生産組合の活動に対し技術的指導や助言を行いました。 【仙寿菜生産組合の主な活動内容】 岐阜大学とのぎふ一村一企業パートナーシップ運動の登録更新

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	-	-	-	-
② 人件費	975,000	1,200,000	1,200,000	1,050,000
③ 合計コスト ①+②	975,000	1,200,000	1,200,000	1,050,000
前年度比 (%)		123.1%	100.0%	87.5%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	975,000	1,200,000	1,200,000
④ 活動一単位当たりコスト	487,500.0	1,200,000.0	#DIV/0!	1,050,000.0
前年度比 (%)		246.2%	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	令和4年度は、人件費の見直しにより減となりました。			

(3) 活動指標	指標名	販売促進活動回数			単位:	回
	指標説明	仙寿菜販売促進活動の年間回数				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	2	1	0	1	

(4) 成果指標	指標名	仙寿菜販売実績額			単位:	円	評価:	+
	指標説明	仙寿菜（加工品等を除く）の年間販売総額						
	目標値の設定方針	前年度販売総額の105%						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値	437,260	208,835	133,592	195,773			
	実績値	198,890	127,230	186,450				
達成度 (%)	45.5%	60.9%	139.6%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 岐阜大学とのパートナーシップ運動登録をすることで、県ホームページ上でのPRに取り組みました。 新型コロナウイルス感染症の拡大の為に販売促進活動等が制限される中、インターネット上に仙寿菜のレシピを公開し、販売促進を実施しました。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<ul style="list-style-type: none"> 安定生産に向けた栽培技術の確立をさらに進め、より品質の高い仙寿菜が安定供給できる仕組みを構築します。 新しい加工品の開発とあわせ、通信販売や新しい取扱店舗の発掘などに取り組み、販路の拡大を目指します。 市と農業協同組合の関係部署で連絡調整会議を開催し、販売促進や組合活動に対する課題等を話し合います。 感染症対策を推進しつつ、PR出来る取組を考えます。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
<ul style="list-style-type: none"> 美濃市の地域ブランドとして期待されており、美濃市特産物を供給する為に重要な事業です。生産から販売、加工品開発について生産組合とともに主体的に取り組む体制を整備していきます。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-9	地域水産業整備事業	担当課	産業課
			作成者	古田 基
施策体系	総合計画上の施策名	24	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	
	施策名（評価単位）	(22)	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	

2. 事務事業の目的	持続可能な地域水産業の育成を目指し、施設整備を支援します。
------------	-------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	-	0	56,000	84,000
② 人件費	-	0	0	600,000
③ 合計コスト ①+②	0	0	56,000	684,000
前年度比（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	1221.4%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	0	0	56,000
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	228.0
前年度比（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）				

(3) 活動指標	指標名	清流美濃なまずの出荷量			単位：	匹
	指標説明	清流美濃なまずの出荷量				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値				3,000	

(4) 成果指標	指標名	清流美濃なまずの出荷量			単位：	匹	評価：	+
	指標説明	清流美濃なまずの出荷量						
	目標値の設定方針							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値				3,000			
	実績値							
達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes		No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes		No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes		No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes		No		

5. 評価・課題	

6. 具体的な改善内容	改善時期

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-10	地域特産物直売所（みちくさ館）管理委託事業	担当課	産業課
			作成者	川端祐美
施策体系	総合計画上の施策名	24	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	
	施策名（評価単位）	(22)	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	

2. 事務事業の目的	地域特産品（農産物等）の販売拡大やPR、生産者の育成及び地域の活性化を図るため、地域特産物直売所の適正な運営管理を行います。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	・地域特産物直売所（みちくさ館）の管理運営について、指定管理者と協定を結びました。（基本協定は平成28年4月1日締結。管理運営内容等に関する年度協定は令和2年4月1日締結）

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	358,000	358,000	358,000	358,000
② 人件費	825,000	375,000	375,000	375,000
③ 合計コスト ①+②	1,183,000	733,000	733,000	733,000
前年度比（％）		62.0%	100.0%	100.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,183,000	733,000	733,000
④ 活動一単位当たりコスト	12,585.1	9,397.4	9049.382716	9,905.4
前年度比（％）		74.7%	96.3%	109.5%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）				

(3) 活動指標	指標名	美濃特産物直売組合組合員数			単位：	人
	指標説明	地域特産物直売所の運営に携わる生産組合の組合員数				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	94	78	81	74	

(4) 成果指標	指標名	美濃特産物直売組合純利益			単位：	円	評価：	+
	指標説明	地域特産物直売所の運営に携わる直売組合の当該年度純利益						
	目標値の設定方針	平成23年度実績						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値	1,340,226	1,340,226	1,340,226	1,340,226			
	実績値	-526,457	983,627	365,605				
達成度（％）	-39.3%	73.4%	27.3%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	B
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes		No	1	

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 直売所の適切な維持管理を行うに加え、県の事業を活用しコンサルティングを受けるなど、よりよい経営方針を検討しています。 組合員数が減少しており、活動を維持するために組合員数の確保を図る必要があります。 直売組合の当該年度純利益がプラスを維持しました。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理に関する基本協定に基づき、老朽化した施設の定期的修繕や保守管理を実施します。 生産者が安心・安全な農業に取り組むことができるよう研修会を開催します。 適正なバランスの運営に戻すよう、収支を見直し、改善策を練ります。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
<ul style="list-style-type: none"> 地産地消を推進していく上で直売所は必要な施設であることから、引き続き施設の運営管理を進めます。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-11	こうぞ生産事業	担当課	産業課
			作成者	川端祐美
施策体系	総合計画上の施策名	24	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	
	施策名（評価単位）	(22)	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	

2. 事務事業の目的	和紙原料の安定供給及び生産振興を促すため、こうぞ生産団体の活動を支援します。また、こうぞ加工施設や乾燥調製施設の管理運営の効率化を進めるため、指定管理者制度を活用します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・こうぞ生産組合に対し、活動補助金1,400千円を交付しました。 ・こうぞ加工施設、こうぞ乾燥調製施設の管理運営について、指定管理者と協定を結びました。（基本協定は平成28年4月1日締結。管理運営内容等に関する年度協定は令和2年4月1日締結）

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	1,692,000	1,692,000	4,167,000	1,692,000
② 人件費	1,200,000	1,275,000	1,275,000	1,125,000
③ 合計コスト ①+②	2,892,000	2,967,000	5,442,000	2,817,000
前年度比（％）		102.6%	183.4%	51.8%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,892,000	2,967,000	5,442,000
④ 活動一単位当たりコスト	4,994.8	3,888.6	6,156.1	3,796.5
前年度比（％）		77.9%	158.3%	61.7%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度については、こうぞ乾燥調製施設のボイラーの修繕が発生したため、コストが増加しました。			

(3) 活動指標	指標名	施設使用延人数			単位：	人
	指標説明	こうぞ生産組合が生産活動等で施設を利用した際の延人数				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	579	763	884	742	

(4) 成果指標	指標名	こうぞ販売額			単位：	円	評価：	+
	指標説明	生産組合によるこうぞ販売総額						
	目標値の設定方針	平成23年度販売総額						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値	542,500	542,500	542,500	542,500			
	実績値	449,400	964,000	833,200				
達成度（％）	82.8%	177.7%	153.6%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・加工施設、乾燥調製施設ともに適切な維持管理が行われています。 ・生産組合の活動は市補助金に依存しており、自主財源（こうぞ販売等）の拡大と安定確保を図る必要があります。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<ul style="list-style-type: none"> ・こうぞ生産量を増大するため、苗を育て、栽培面積の拡張を行います。 ・こうぞの需要に応えるため、作業の効率化や組合員の増員による、労働力の確保に努めます。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
<ul style="list-style-type: none"> ・美濃市の産業において欠かせない和紙の原料を生産する事業であること、農地を維持することで農業及び地域住民の生活空間の保全（遊休農地防止及び鳥獣害対策）に繋がる事業であることから、当該事業は、引き続き市が生産組合へ支援を行うべき事業であると評価します。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-12	わくわくファーム施設管理事業	担当課	産業課
			作成者	川端祐美
施策体系	総合計画上の施策名	24	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	
	施策名(評価単位)	(22)	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	

2. 事務事業の目的	中山間地域の農業振興と地域の活性化を図るため、拠点施設である「和紙の里わくわくファーム」の適正な管理運営を行います。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	<p>・和紙の里わくわくファーム創造交流館とふれあい農園を、特産物加工グループの活動拠点や若手和紙職人の研修場所などとして貸出等行いました。</p> <p>【貸出等の実績】 創造交流館延べ1,604人（R2年度2,018人）、BBQ施設延べ83人（R2年度167人）、 レンタサイクル延べ0人（R2年度5人） ふれあい農園 84区画中74区画貸出</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	5,325,679	3,367,739	3,956,485	3,739,000	
② 人件費	825,000	825,000	825,000	825,000	
③ 合計コスト ①+②	6,150,679	4,192,739	4,781,485	4,564,000	
前年度比 (%)		68.2%	114.0%	95.5%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	814,550	614,145	766,000	533,840
	一般財源	5,336,129	3,578,594	4,015,485	4,030,160
④ 活動一単位当たりコスト	17,132.8	11,678.9	13,318.9	12,713.1	
前年度比 (%)		68.2%	114.0%	95.5%	
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)					

(3) 活動指標	指標名	施設稼働日数				単位:	日
	指標説明	和紙の里わくわくファーム創造交流館開館日数					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	359	359	359	359		

(4) 成果指標	指標名	創造交流館利用者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	創造交流館（特産品加工室、調理実習室、多目的研修室、紙漉き研修室）、BBQ等施設の延べ利用人数							
	目標値の設定方針	利用計画人数							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	2,878	2,878	2,878	2,878				
	実績値	2,303	2,190	1,687					
達成度 (%)	80.0%	76.1%	58.6%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>・創造交流館の利用者数が、呼びかけ等により増加しました。</p> <p>・成果指標の実績値の減少は、新型コロナウイルス感染症対策の為にBBQ施設を中心に利用制限をかけたこと（R2:167人、R3:83人）が大きな要因です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<p>・多目的室と農園の利用率を上げるため、利用状況の確認と、利用性向上の為に体制見直し及び備品・消耗品の整備を行います。</p> <p>・適切な感染症対策を推進します。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
<p>・少子高齢化が進行する中、中山間地域の活性化のためには必要不可欠な施設であり、施設の利用拡大を進めます。</p>		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-13	定住促進センター施設管理事業	担当課	産業課
			作成者	川端祐美
施策体系	総合計画上の施策名	24	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	
	施策名(評価単位)	(22)	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	

2. 事務事業の目的	農山村地域の定住促進対策を図るため、拠点施設となる「定住促進センター」の適正な管理運営を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	定住促進センターの集会室や調理室を、地域コミュニティや歴史・文化活動の場として貸出等を行いました。 【貸出等の実績】 利用実日数：111日 延べ利用人数：1,520人

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	2,663,324	3,234,165	1,452,239	1,654,000
② 人件費	825,000	825,000	825,000	825,000
③ 合計コスト ①+②	3,488,324	4,059,165	2,277,239	2,479,000
前年度比 (%)		116.4%	56.1%	108.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	600	-	0
	一般財源	3,487,724	4,059,165	2,277,239
④ 活動一単位当たりコスト	11,362.6	13,222.0	7,417.7	8,074.9
前年度比 (%)		116.4%	56.1%	108.9%
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	令和3年度・令和4年度には大きな修繕の予定はなく、コストが削減されています。			

(3) 活動指標	指標名	施設稼働日数				単位:	日
	指標説明	定住促進センター開館日数					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	307	307	307	307		

(4) 成果指標	指標名	定住促進センター利用者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	定住促進センター（集会室、和室、調理室、図書室）の延べ利用人数							
	目標値の設定方針	利用計画人数							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	5,540	5,540	5,540	5,540				
	実績値	1,946	1,634	1,520					
達成度 (%)	35.1%	29.5%	27.4%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 適正な維持管理を実施しています。 会議から卓球クラブ、勉強会等まで、幅広い目的・団体に利用してもらうことで、市民が身近に利用してもらえるよう努めました。 実績値の減少は、新型コロナウイルス感染症対策の為に利用制限をかけたことが要因です。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<ul style="list-style-type: none"> 適正な修繕等により地域ふれあいセンター機能向上及び利用者の利便性を高め、稼働率を上げます。 適切な感染症対策を推進します。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
<ul style="list-style-type: none"> 農山村地域の振興を図るとともに、地域住民の生活改善や交流促進を図るためには必要不可欠な施設であり、公民館活動と連携するなど、施設の利用拡大を進めます。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-14	21世紀活性化塾事業	担当課	産業課
			作成者	川端祐美
施策体系	総合計画上の施策名	24	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	
	施策名(評価単位)	(22)	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	

2. 事務事業の目的	持続可能な地域農業の振興を図るため、農業・農村の活性化や農業リーダーの養成に取り組む「美濃市21世紀活性化塾」の活動を支援します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・21世紀活性化塾の活動に対し技術指導や助言を行いました。 【活性化塾の主な活動】 ・中有知小学校を対象とした農業体験学習を開催 ・農機具等貸出事業

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	100,000	100,000	100,000	100,000
② 人件費	825,000	375,000	375,000	375,000
③ 合計コスト ①+②	925,000	475,000	475,000	475,000
前年度比 (%)		51.4%	100.0%	100.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	925,000	475,000	475,000
④ 活動一単位当たりコスト	185,000.0	95,000.0	95,000.0	95,000.0
前年度比 (%)		51.4%	100.0%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	21世紀活性化塾塾生数				単位:	人
	指標説明	21世紀活性化塾に加入する塾生数					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	5	5	5	5		

(4) 成果指標	指標名	21世紀活性化塾事業収入		単位:	円	評価:	+
	指標説明	農作業体験参加費、産業祭物販売収入等の事業収入					
	目標値の設定方針	平成23年度実績					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	目標値	282,050	282,050	282,050	282,050		
	実績値	45,300	0	59,000			
達成度 (%)	16.1%	0.0%	20.9%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	B
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes		No	1	

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・中有知小学校での農業体験学習を実施し、農業の振興及び活性化につながる活動を行いました。 ・新型コロナウイルスの影響もある中で、会員数の減少に伴い活動が衰退しています。小中学校のみならず、園児に対しても農業体験の実施を行うなど、活動の幅を広げていく必要があります。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動を継続し、より農業・農村の活性化や農業リーダーとして活躍する場を広げます。 ・新しい取り組みや、新しい塾生の募集を進めることで、持続可能な地域農業の振興を図ります。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
<ul style="list-style-type: none"> ・農業の魅力や地域の活性化を進める上で21世紀活性化塾の果たす役割は大きく、今後も引き続き活動を支援します。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-15	間伐実施確保対策事業	担当課	産業課
			作成者	平田 匠
施策体系	総合計画上の施策名	25	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	
	施策名（評価単位）	(23)	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	

2. 事務事業の目的	良質木材生産のため人工林の間伐を支援します。
------------	------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	森林組合や事業者に対し、間伐事業を促進し森林育成を図り美濃市森林施策計画の間伐事業に対する県補助金に市補助金を上乗せし交付しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	4,425,500	4,643,000	3,927,100	7,725,000
② 人件費	1,125,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
③ 合計コスト ①+②	5,550,500	6,143,000	5,427,100	9,225,000
前年度比（％）		110.7%	88.3%	170.0%
財源内訳	国・県支出金	-	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	5,550,500	6,143,000	5,427,100
④ 活動一単位当たりコスト	1,110,100.0	1,228,600.0	1,085,420.0	1,845,000.0
前年度比（％）		110.7%	88.3%	170.0%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は、未施工分があり事業費が減額しました。令和4年度は未施工分を実施するため事業費が増額しています。			

(3) 活動指標	指標名	説明会開催数				単位：	回
	指標説明						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	5	5	5	5		

(4) 成果指標	指標名	間伐面積				単位：	ha	評価：	+
	指標説明	一般、機能増進保育、過密林等の間伐実施面積							
	目標値の設定方針	前年度の間伐面積×100							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	73	55	22	30				
	実績値	55	22	30					
	達成度（％）	75.3%	40.0%	136.4%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
森林所有者の世代交代とともに森林保全・間伐に対する認識が薄れつつあるため、所有者に対する啓発を図る必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
森林所有者・森林関係者等の間伐意識の向上を図り、利用間伐を促進し、放置人工林を防ぐため計画的な事業を促進します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
民間森林業者・森林組合と連携し啓発及び説明会を開催し、放置人工林を計画的に整備します。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-16	森林整備地域活動支援事業	担当課	産業課
			作成者	上仲 秀典
施策体系	総合計画上の施策名	25	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	
	施策名(評価単位)	(23)	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	

2. 事務事業の目的	森林所有者等による適切な森林施業の実施に必要な森林の現況把握や歩道の整備等の活動を確保することに寄与します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	地域住民が道普請で行う林業施設（林道等）の小規模な維持修繕事業に対して材料等の支給を行いました。 将来的に適切な美濃市の森林の管理・整備をするために地域森林監理士と契約を結び、助言のもと森林経営を実施しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	1,270,833	3,289,930	3,341,707	4,250,700	
② 人件費	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	
③ 合計コスト ①+②	2,770,833	4,789,930	4,841,707	5,750,700	
前年度比 (%)		172.9%	101.1%	118.8%	
財源内訳	国・県支出金	150,000	690,000	708,000	910,000
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	2,620,833	4,099,930	4,133,707	4,840,700
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
前年度比 (%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	R4年度は、直接事業費の内訳見直しにより増額となる見込みです。				

(3) 活動指標	指標名	整備等の活動面積				単位:	ha
	指標説明						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	0	0	0	0		

(4) 成果指標	指標名	森林境界明確化作業				単位:	ha	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度のha数×100%以上							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	73	55	55	55				
	実績値	0	0	0					
達成度 (%)	0.0%	0.0%	0.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
令和3年度は森林境界明確化作業が未実施となりました。 森林組合等の事業主体が計画的に森林施業が行えるよう、制度の安定的な継続化が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
地域活動に要した経費は森林組合・森林施業者に対して交付を行うため、事業実施できるよう森林組合・森林施業者に内容を説明しました。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
交付金の算定方式を積算基礎森林面積に交付単価を乗じた額と地域活動に要した経費を比較していずれか低い額を交付する方式に見直しました。放置人工林を整備する必要性から、美濃市としても国に準じ対応をします。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-17	森林景観事業	担当課	産業課
			作成者	平田 匠
施策体系	総合計画上の施策名	25	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	
	施策名（評価単位）	(23)	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	

2. 事務事業の目的	岐阜県の環境保全モデル林に指定されている古城山において、子供たちが遊び、学べる里山づくりを進めます。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成3年度）	古城山環境保全モデル林の利活用を促進する為、里山づくりを実践するプレイヤーが中心となり、市民等を対象とした年5回の里山体験イベントを開催しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	1,010,144	802,466	884,103	953,000	
② 人件費	825,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	
③ 合計コスト ①+②	1,835,144	2,302,466	2,384,103	2,453,000	
前年度比（％）		125.5%	103.5%	102.9%	
財源内訳	国・県支出金	772,488	612,744	746,328	792,000
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,062,656	1,689,722	1,637,775	1,661,000
④ 活動一単位当たりコスト	203,904.9	255,829.6	264,900.3	272,555.6	
前年度比（％）		125.5%	103.5%	102.9%	
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は、イベントの事業費が増えたため、増額となりました。令和4年度も同様の理由で増額する見込みです。				

(3) 活動指標	指標名	古城山整備・活用計画策定会議			単位：	回
	指標説明	美濃市古城山環境保全モデル林連絡協議会を開催した				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	9	9	9	9	

(4) 成果指標	指標名	整備箇所数	単位：	ha	評価：	+
	指標説明	間伐・遊歩道・登山道整備箇所数				
	目標値の設定方針	前年度実績の1.5				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	目標値	1	1	1	1	
	実績値	0	0	0		
達成度（％）	0.0%	0.0%	0.0%			

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
環境保全モデル林（古城山）において、里山で活動する団体（プレイヤー）が10年間にわたり、継続的な里山の利活用が行えるよう、分収造林地の将来的な方向性に関係機関で検討する必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
プレイヤーの希望する利活用を元に、地元小中学校、自治会、近隣土地所有者などの意見も取り入れて、より良い里山づくりを目指します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
子供たちが遊び、学び、体験する中で森と共に生き、ふるさとを愛する人材を育むことができる美しい里山の更生を目指します。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-18	美濃中央高原関係事業	担当課	産業課
			作成者	平田 匠
施策体系	総合計画上の施策名	25	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	
	施策名(評価単位)	(23)	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	

2. 事務事業の目的	森林保全のために美濃中央高原の環境維持と森林活用を進めます。
------------	--------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	美濃中央高原（片知ふくべの森）にあるトイレの維持管理（清掃等）や広場の除草作業を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	642,650	642,164	642,820	665,000
② 人件費	600,000	750,000	750,000	750,000
③ 合計コスト ①+②	1,242,650	1,392,164	1,392,820	1,415,000
前年度比 (%)		112.0%	100.0%	101.6%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,242,650	1,392,164	1,392,820
④ 活動一単位当たりコスト	621,325.0	696,082.0	696,410.0	707,500.0
前年度比 (%)		112.0%	100.0%	101.6%
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	委託件数			単位:	件
	指標説明	年間を通じた中央高原関連委託件数有				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	2	2	2	2	

(4) 成果指標	指標名	イベント数		単位:	回	評価:	+
	指標説明	ふくべの森関連イベント開催数					
	目標値の設定方針	前年度実績プラス1イベント					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	目標値	3	1	1	1		
	実績値	0	0	0			
達成度 (%)	0.0%	0.0%	0.0%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
美濃中央高原トイレ・東屋（ログハウス）は老朽が進んでいますが、観光客などの利用者は増加しています。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
公共施設個別施設計画に合わせ、施設の計画的な修繕を行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
美濃中央高原関係に必要な最低限の経費です。過疎化する中山間地域にとって「素晴らしいところ」だと誇りに思えるように取り組んでいく必要があります。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-19	林道整備事業	担当課	産業課
			作成者	上仲 秀典
施策体系	総合計画上の施策名	25	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	
	施策名（評価単位）	(23)	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	

2. 事務事業の目的	山を訪れる観光客及び林業事業者等の安全のため、林道の補修・改良、駐車場・交通安全施設を整備します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	主な林道の土砂堆積の除去や法面の陥没を修復するなど維持補修を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	1,844,738	1,222,027	3,656,419	4,110,000	
② 人件費	750,000	1,875,000	1,875,000	1,875,000	
③ 合計コスト ①+②	2,594,738	3,097,027	5,531,419	5,985,000	
前年度比（％）		119.4%	178.6%	108.2%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	1,023,000	883,000
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	2,594,738	3,097,027	4,508,419	5,102,000
④ 活動一単位当たりコスト	370,676.9	344,114.1	790,202.7	665,000.0	
前年度比（％）		92.8%	229.6%	84.2%	
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は、林道中美濃線の舗装工事を実施したため事業費が増額しました。R4年度は、林道上須原線の修繕工事を実施する見込みのため事業費が増額する予定です。				

(3) 活動指標	指標名	箇所			単位：	箇所
	指標説明	林道の整備箇所数				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	7	9	7	9	

(4) 成果指標	指標名	整備距離延長			単位：	ha	評価：	+
	指標説明	整備された林道の延長距離						
	目標値の設定方針	前年度実績の1.2						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値	5,400	5,400	5,400	5,400			
	実績値	4,500	4,500	4,500				
達成度（％）	83.3%	83.3%	83.3%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
危険箇所等優先度が高い箇所から補修等を実施しました。天候等で林道補修箇所などが増加するので、軽微でも持続的な整備が必要と考えられます。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
危険箇所とならないよう、定期的にパトロールをするなど早期に補修等の対応を行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
林道の維持管理は、こまめに林道パトロールを行い、今後も継続的に整備・補修を行っていくことが重要と考えられます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-20	森林経営管理事業	担当課	産業課
			作成者	上仲 秀典
施策体系	総合計画上の施策名	25	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	
	施策名(評価単位)	(23)	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	

2. 事務事業の目的	美濃市内の森林管理が円滑に行われるための美濃市森林経営管理制度を整備します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	美濃市森林経営管理制度の意向調査及び整備計画案を業務委託により作成。その他森林環境譲与税を活用しライフライン保全対策事業の残木処理、意向調査対象林班優先順位付けの業務委託を行った。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	3,300,000	4,070,000	17,798,000	23,588,000	
② 人件費	1,125,000	1,875,000	1,875,000	2,250,000	
③ 合計コスト ①+②	4,425,000	5,945,000	19,673,000	25,838,000	
前年度比 (%)		134.4%	330.9%	131.3%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	3,300,000	4,070,000	17,798,000	23,588,000
	一般財源	1,125,000	1,875,000	1,875,000	.
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	5,945,000.0	3,934,600.0	3,691,142.9	
前年度比 (%)		#DIV/0!	66.2%	93.8%	
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	R3年度は、事業数の増加により人件費は増額しましたが、活動指標数が増加したため活動一単位当たりのコストが減少しました。R4年も同様に事業費は増額見込ですが、活動指標も増の見込みで活動一単位当たりのコストは減少する見込みです。				

(3) 活動指標	指標名	意向調査箇所数				単位:	箇所
	指標説明	森林の経営管理に関する調査					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	0	1	5	7		

(4) 成果指標	指標名	森林経営管理済面積				単位:	ha	評価:	-
	指標説明	意向調査後に整備した森林の面積							
	目標値の設定方針	前年度実績の1.2							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	0	0	0	14				
	実績値			0					
達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
令和2年に蕨生地域の森林所有者の意向調査調査、令和3年度に意向調査結果による整備計画案を委託業務にて策定。神洞地域においても令和3年度にて意向調査及び整備計画案の策定を業務委託にて行い、今後の美濃市の森林経営管理制度上の業務としてのモデルとなるものになりましたが成果品の検査が不十分な部分がありました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
委託先から提出される成果品が仕様書の内容と適切であるかを市職員だけでなく林政アドバイザーにも確認を求め、より成果品として質の高いものとなるよう検査を徹底します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
森林の林地台帳、林地台帳地図の整備や経営管理意向調査と並行して、森林の適切な経営管理に欠かせない所有境界の明確化や所有者の探索について、境界明確化事業や山村境界基本調査等の実施が必要。意向調査と同時並行で行うのか業務を行うタイミングを関係機関等を協議し方針を固めていきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-21	ものづくり拠点施設管理経費	担当課	産業課
			作成者	平田 匠
施策体系	総合計画上の施策名	25	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	
	施策名(評価単位)	(23)	林業の振興と持続可能な森林経営管理の推進	

2. 事務事業の目的	地元産材を活用した起業化、木育活動の推進、地域交流等の施設としての運営
------------	-------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	旧下牧小学校を再利用し、木のものづくりに関わる新商品開発の促進及び次の時代を担う人材育成支援のため、施設の維持・保安管理と来場者への対応を行いました。新商品開発は大同大学と共同したことで、これまでより多く開発することができました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	2,480,843	2,835,517	2,564,485	2,499,000
② 人件費	1,725,000	1,125,000	1,125,000	1,125,000
③ 合計コスト ①+②	4,205,843	3,960,517	3,689,485	3,624,000
前年度比 (%)		94.2%	93.2%	98.2%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	4,205,843	3,960,517	3,689,485
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	3,960,517.0	1,229,828.3	1,208,000.0
前年度比 (%)		#DIV/0!	31.1%	98.2%
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	令和3年度は、活動指標が増加したため、活動一単位当たりコストは減少しました。令和4年度は、大幅な増減はない見込みです。			

(3) 活動指標	指標名	新商品開発数				単位:	品
	指標説明						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	0	1	3	3		

(4) 成果指標	指標名	来館者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	地方創生推進交付金・拠点整備交付金KPI							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	3,300	3,300	3,300	3,300				
	実績値	1185	678	1015					
達成度 (%)	35.9%	20.5%	30.8%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発した作品を、これから製造、販売のルートを確認していく必要があります。 ・令和3年度は来館者数が増加しましたが、コロナの影響により、目標値には程遠い実績です。地域の交流等の施設として広くPRする必要があります。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<p>ものづくり拠点施設、新商品を広くPRするためにパンフレットの作成や専門誌への掲載を行います。 旅行会社等へ木工体験ツアーとしての施設PRを実施します。 開発した作品をふるさと納税の返礼品とすることで、販売ルートを増やしました。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
<p>木のものづくりに関わる、次の時代を担う人材を育成するため、地元産材を活用した新商品開発や起業化支援を行う必要があります。</p>		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-22	女性商工会館管理委託事業	担当課	産業課
			作成者	加納将大
施策体系	総合計画上の施策名	26	商業・サービス業の活性化	
	施策名（評価単位）	(24)	商業・サービス業の活性化と、工業の振興	

2. 事務事業の目的	女性団体、商工業者の育成振興を図るため、女性商工会館を運営管理します。
------------	-------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	NPO法人美濃すまいづくりを指定管理者として管理委託を実施しました。令和3年度は、29件、893人が利用しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	1,054,000	1,142,230	1,016,000	1,016,000
② 人件費	1,125,000	1,125,000	1,125,000	1,125,000
③ 合計コスト ①+②	2,179,000	2,267,230	2,141,000	2,141,000
前年度比（％）		104.0%	94.4%	100.0%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	2,179,000	2,267,230	2,141,000
④ 活動一単位当たりコスト	29,445.9	80,972.5	73,827.6	73,827.6
前年度比（％）		275.0%	91.2%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由（R3年度実績、R4年度見込）				

(3) 活動指標	指標名	利用件数				単位：	件
	指標説明						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	74	28	29	29		

(4) 成果指標	指標名	使用人数				単位：	人	評価：	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	実績値の1.1倍							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	2,036	1,784	1,381	1,134				
	実績値	1,497	702	893					
達成度（％）	73.5%	39.3%	64.7%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
女性団体、商工業者の育成振興を図るため、さらなる利用者の増加を図る必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	新型コロナウイルス感染症終息後
今後も継続して、利用者、集客の増員を図るため、会館1Fの展示物の見直しや、イベント実施などを行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤 裕之
NPO法人美濃のすまいづくりに管理委託を実施し、女性団体等市民の育成振興の場として広く活用を図ります。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-23	民間活力創生事業	担当課	産業課
			作成者	太田望美
施策体系	総合計画上の施策名	26. 27	商業・サービス業の活性化・工業の振興	
	施策名（評価単位）	(24)	商業・サービス業の活性化と、工業の振興	

2. 事務事業の目的	新たな産業の創出や産業の再生を目指す民間企業又はグループ、また、起業を目指す市民に対して補助制度の支援を行い、産業の活性化と産業振興を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	俵町商店街振興組合への補助（運営費・駐車場管理費・トイレ管理費） その他、空き店舗活用や特産品開発に係る補助事業やうだつ基金を活用した市街地活性化融資制度、投資・出資制度を広く周知し、産業の活性化を図ります。 （R3年実績） 俵町商店街振興組合への補助490,000円 空き店舗等活用補助事業 1件 補助額3,000,000円 特産品開発等補助事業 2件 補助額371,000円 融資制度、投資・出資制度 0件 0円

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	0	0	3,861,000	15,000,000
② 人件費	1,125,000	1,125,000	2,250,000	2,250,000
③ 合計コスト ①+②	1,125,000	1,125,000	6,111,000	17,250,000
前年度比（%）		100.0%	543.2%	282.3%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	1,125,000	1,125,000	6,111,000
④ 活動一単位当たりコスト	#VALUE!	#VALUE!	2,037,000.0	4,312,500.0
前年度比（%）		#VALUE!	#VALUE!	211.7%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度より事業内容に融資制度だけでなく、補助制度を追加します。 令和4年度より融資制度を廃止し、補助制度を充実させることから令和4年見込み額を増とします。			

(3) 活動指標	指標名	補助金相談件数				単位：	件
	指標説明						
	実績値			3	4		

(4) 成果指標	指標名	補助金申請件数				単位：	件	評価：	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	補助事業申請件数							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	実績値	-	-	3	4				
達成度（%）	#VALUE!	#VALUE!	100.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市内で新たに起業しようとする方が少なく、融資制度や投資・出資制度が使われていないのが現状です。空き店舗活用を目的とした補助制度へは申請があり、一定の需要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
事業ごとに散在していた補助制度を民間活力創生事業に一本化し、既存の補助事業を見直し、6つの補助事業を再構築。広報や商工会議所等を通じて周知し、利用拡大を図ります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤 裕之
融資制度や投資・出資制度などを廃止し、より利用しやすい制度への見直しを行い、地域活性化と産業振興を図ります。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-24	美濃商工会議所補助事業	担当課	産業課
			作成者	加納将大
施策体系	総合計画上の施策名	26.27	商業・サービス業の活性化・工業の振興	
	施策名（評価単位）	(24)	商業・サービス業の活性化と、工業の振興	

2. 事務事業の目的	商工会議所の運営及び商工会議所が実施する市内商工業振興事業を支援することにより市内産業の振興を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	美濃商工会議所事業運営補助 7,300千円

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	7,640,000	6,150,000	7,300,000	6,800,000
② 人件費	1,125,000	1,125,000	1,125,000	2,250,000
③ 合計コスト ①+②	8,765,000	7,275,000	8,425,000	9,050,000
前年度比（％）		83.0%	115.8%	107.4%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	8,765,000	7,275,000	8,425,000
④ 活動一単位当たりコスト	674,230.8	727,500.0	648,076.9	696,153.8
前年度比（％）		107.9%	89.1%	107.4%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は、コロナによる縮小から、例年通りの事業量を行うため増額となります。			

(3) 活動指標	指標名	講演会開催回数				単位：	回
	指標説明						
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
		13	10	13	13		

(4) 成果指標	指標名	講演会参加者数				単位：	人	評価：	+
	指標説明	商工会議所主催の商工業振興関係の講演会							
	目標値の設定方針	前年度講演会参加者の105%							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	427	420	404	546				
	実績値	400	385	520					
達成度（％）	93.7%	91.7%	128.7%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価
					A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
商工会議所、ハローワークなどと連携し、関係機関が取り組む雇用・求人对策を積極的に支援する必要があります。高齢化に伴う廃業等により会員数の減少がみられます。	

6. 具体的な改善内容		改善時期
広域連携によるビジネスチャンス拡大、企業力・商店力アップのための人材育成、IT活用、施策づくりなどの新たな取り組みを行っていきます。美濃市特有の優れた自然や伝統文化を活かした観光客の取り込みと商業の活性化対策となる事業を商工会議所と連携して引き続き展開します。会員への速やかな周知を可能とするための仕組みづくりを検討します。		令和4年4月

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名
新型コロナウイルス感染拡大に伴う中小零細企業の現状は未だ厳しい状況であり、市内の商工業の発展のため商工会議所の取り組みに対し寄与するように継続して助成していきます。		佐藤 裕之
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-25	道の駅施設管理事業	担当課	産業課
			作成者	加納将大
施策体系	総合計画上の施策名	24	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	
	施策名（評価単位）	(22)	農業の振興と豊かな農村づくりの推進	

2. 事務事業の目的	多目的な機能(休憩・情報発信・地域連携等)を有した市民に密着した道の駅を目指し、充実したサービスの提供とともに、サイクルシティ・防災の拠点として運営管理していきます。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	指定管理者である(株)美濃にわか茶屋への維持管理に係る委託 情報収集等のために加盟している中部ブロック・岐阜県ブロック協議会への負担金

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	4,504,000	4,710,000	4,285,000	4,478,000
② 人件費	1,425,000	1,275,000	1,275,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	5,929,000	5,985,000	5,560,000	5,378,000
前年度比 (%)		100.9%	92.9%	96.7%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	5,929,000	5,985,000	5,560,000
④ 活動一単位当たりコスト	988,166.7	#DIV/0!	#DIV/0!	2,689,000.0
前年度比 (%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	イベント開催数				単位:	回
	指標説明						
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
		6	0	0	2		

(4) 成果指標	指標名	売り上げ金額				単位:	円	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	年間計画による							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	367,240,000	372,342,000	381,035,000	391,286,000				
	実績値	391,939,000	368,925,000	371,215,000					
達成度 (%)	106.7%	99.1%	97.4%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		A
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、各種イベントを行うことができなかったが、PAYPAYの20%還元を利用して売上の減少を最小限に抑えることができました。また、PR効果、初めての利用者確保につながりました。キャッシュレス決済の導入等で利便性の向上を図っており毎日の売上を維持・伸ばしています。</p> <p>ただし、令和4年からキャッシュレス決済の手数料還元キャンペーンも終わり、大きな出費となることが想定されます。</p>	

6. 具体的な改善内容		改善時期
乾燥ニンニクや黒にんにくをさらにPRして、売上額が増加するように努めます。また、SNS等の利用に力を入れていきます。		令和4年4月

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名
道の駅が広く利活用されることで、市の特産物、農産物等が広くPRでき、販売のみならず生産者の作る喜びにもつながっていることから、市の観光や産業の活性化につながるため継続し、支援していきます。また、レンタサイクル事業や防災拠点としての役割も継続していきます。		佐藤 裕之
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-26	小口融資貸付事業	担当課	産業課
			作成者	加納将大
施策体系	総合計画上の施策名	27. 29	工業の振興、労働力人口の獲得と就労支援の充実	
	施策名（評価単位）	(24)	商業・サービス業の活性化と、工業の振興	

2. 事務事業の目的	市内中小企業者の支援及び経営安定を図るため、融資を行います。
------------	--------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	美濃市小口融資条例による小口融資制度を実施しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	16,000,000	16,000,000	16,000,000	16,000,000
② 人件費	1,125,000	1,125,000	1,125,000	1,125,000
③ 合計コスト ①+②	17,125,000	17,125,000	17,125,000	17,125,000
前年度比（％）		100.0%	100.0%	100.0%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	17,125,000	17,125,000	17,125,000
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
前年度比（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）				

(3) 活動指標	指標名	融資件数			単位：	件
	指標説明					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	0	0	0	0	

(4) 成果指標	指標名	融資利用者数			単位：	人	評価：	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	県の小口融資制度がある間は目標値を設定しません。						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値							
	実績値	0	0	0				
達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	C
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes		No	1		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes		No	1		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
新型コロナウイルス感染症対策の特別融資と、岐阜県の同制度で保証料補助を兼ね備えている優遇措置があるため、市の小口融資制度の利用はありませんでした。しかし、世界的に金利の引き締めが顕著であり、日本に波及する可能性があるため景気が安定するまでは小口融資は継続していく必要があると思われます。	

6. 具体的な改善内容	改善時期
他の融資制度で目標を達成できているため、現時点で改善の必要性はないと考えます。	

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤 裕之
県の小口融資貸付制度を活用する事業者が多いのが現状です。市としても中小企業者の経営安定を図るために資することは重要なので、制度周知以外に他市の状況を確認します。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-27	工業団地開発事業	担当課	産業課
			作成者	太田望美
施策体系	総合計画上の施策名	28	企業誘致の推進	
	施策名（評価単位）	(24)	商業・サービス業の活性化と、工業の振興	

2. 事務事業の目的	企業誘致を積極的に進めるため、新たな工業用地を確保し地域経済の振興を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	工場誘致奨励金事業 市内で物品の製造、加工、修理又は研究開発等の事業を行う工場の新設・増設、移設に対し、新たに取得した固定資産で、操業開始日以降最初に到来する固定資産税の賦課期日の土地・家屋・償却資産にかかる投下固定資産税分を限度として工場設置奨励金を交付（中小企業は5年間）し、また3年を経過した日において引き続き1年以上雇用している人数に応じて交付する雇用促進奨励金を交付することで、工場の誘致を図ります。 R1年に東海化成が指定を受けて以降、新規はない。R3年は東海化成に工場設置奨励金と雇用促進奨励金への支払いしました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト					（単位：円）
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	-	-	1,983,253	12,012,126	
② 人件費	5,100,000	2,475,000	2,475,000	2,475,000	
③ 合計コスト ①+②	5,100,000	2,475,000	4,458,253	14,487,126	
前年度比（％）		48.5%	180.1%	325.0%	
財源内訳	国・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	5,100,000	2,475,000	4,458,253	14,487,126
④ 活動一単位当たりコスト	#VALUE!	#VALUE!	#DIV/0!	14,487,126.0	
前年度比（％）		#VALUE!	#DIV/0!	#DIV/0!	
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	R3年から事業内容に工場誘致奨励金を追加しました。 R4年は(株)兎山鐵工が新規指定を受け、工場誘致奨励金の交付対象となるため増加します。				

(3) 活動指標	指標名	工場誘致奨励金への新規申請件数			単位：	件
	指標説明					
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
		-	-	0	1	

(4) 成果指標	指標名	工場誘致奨励金への新規申請件数			単位：	件	評価：	+
	指標説明	工場の新設、増設、移設の件数						
	目標値の設定方針	申請件数						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値	-	-	1	1			
	実績値	-	-	0				
達成度（％）	#VALUE!	#VALUE!	0.0%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	B
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes		No	1		

5. 評価・課題	
岐阜県の製造業の工場立地動向は、立地件数50件（全国3位）・立地面積76ha（全国3位）と、全国平均を上回っております。要因としては、高速道路網の広域アクセスの充実や地震災害などのリスクに備えた県内の強固な地盤、市町村と連携した企業誘致の推進が評価されたものと考えられます。そのような中において、市内に企業立地のための土地が不足していることが課題となっています。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
企業立地に適した土地を整備するため関係課と連携しながら、工場誘致奨励金事業も広くPRし、企業誘致を促進します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名
工業誘致は若年労働者の働き場所の確保と人口増対策等地域活性化、将来の税収増につながる大変重要な事業です。そのため、関係機関および地域関係者と密に協議を進めたり、奨励金制度を広くPRし、企業が進出しやすい環境を整えます。	
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-28	雇用対策事業	担当課	産業課
			作成者	加納将大
施策体系	総合計画上の施策名	29	労働力人口の獲得と就労支援の充実	
	施策名（評価単位）	(24)	商業・サービス業の活性化と、工業の振興	

2. 事務事業の目的	美濃商工会議所が実施する雇用対策の推進事業を支援し市内企業に有能な人材確保します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	雇用対策セミナーの開催。 合同企業説明会等への出展支援 デジタルリクルートガイド（当所HP）の更新 求人採用向け企業説明・PR動画の製作支援

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	1,960,000	1,960,000	1,700,000	1,700,000
② 人件費	750,000	750,000	750,000	750,000
③ 合計コスト ①+②	2,710,000	2,710,000	2,450,000	2,450,000
前年度比（％）		100.0%	90.4%	100.0%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	2,710,000	2,710,000	2,450,000
④ 活動一単位当たりコスト	451,666.7	451,666.7	816,666.7	816,666.7
前年度比（％）		100.0%	180.8%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施回数が減少となったため増額となります。			

(3) 活動指標	指標名	事業実施回数				単位：	回
	指標説明						
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
		6	6	3	3		

(4) 成果指標	指標名	事業参加事業所数				単位：	社	評価：	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	事業計画による							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	21	22	18	12				
	実績値	11	14	18					
達成度（％）	52.4%	63.6%	100.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
商工会議所と連携して市内就職希望者への美濃関会社合同説明会を実施していますWEB開催を取り入れることでより多くの就職希望者にPRすることができたが、さらに商工会議所やハローワークなど関係機関と連携を図り、雇用・求人对策事業を進め、雇用の安定と確保を進める必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
市内企業との協力体制を強化し、企業紹介・求人情報など詳細な情報をホームページなどにより広く発信します。大学就職担当者と企業採用担当者の意見交換会の開催、U・J・I ターン希望者に対しての合同会社説明会への出展について、多くの企業の参加を要請していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤 裕之
市活性化のために人口増対策における雇用安定と確保は、最も重要であることから引き続き実施していきます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-29	岐阜県勤労者生活資金融資事業	担当課	産業課
			作成者	加納将大
施策体系	総合計画上の施策名	29	労働力人口の獲得と就労支援の充実	
	施策名（評価単位）	(24)	商業・サービス業の活性化と、工業の振興	

2. 事務事業の目的	美濃市内の勤労者に対し生活に必要な資金を融資し、雇用の確保と市内定住を促します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	勤労者を支援するため、融資利率の引き下げを行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
② 人件費	450,000	450,000	450,000	450,000
③ 合計コスト ①+②	4,450,000	4,450,000	4,450,000	4,450,000
前年度比（％）		100.0%	100.0%	100.0%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	4,450,000	4,450,000	4,450,000
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
前年度比（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	各年度事業費は、原資預託金です。			

(3) 活動指標	指標名	融資件数			単位：	件
	指標説明					
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
		0	0	0	0	

(4) 成果指標	指標名	融資利用者数			単位：	人	評価：	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	昨年実績値プラス1人						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値	1	1	1	1			
	実績値	0	0	0				
達成度（％）	0.0%	0.0%	0.0%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	C
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes		No	1	
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes		No	1	

5. 評価・課題	
勤労者の資金、民間金融機関の融資制度の充実から、利用者がありませんでした。。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
勤労者の資金、民間金融機関の融資制度の充実から、現時点で改善の必要はありません。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤 裕之
勤労福祉の観点から市として継続し、広く周知します。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-30	美濃市産業祭事業	担当課	産業課
			作成者	太田望美
施策体系	総合計画上の施策名	26.27	商業・サービス業の活性化・工業の振興	
	施策名（評価単位）	(25)	産業課事務の執行	

2. 事務事業の目的	市内産業や特産品を販売及び紹介する産業祭と健康増進に関する健康フェア、防災意識向上のための防災フェアを同時開催する総合フェアを開催することで多くの人を誘客し、産業振興と地域活性化・市民の健康と安心・安全を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	新型コロナウイルス感染症拡大により、本イベントを中止としました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	10,600,000	0	0	12,778,000
② 人件費	1,800,000	1,650,000	1,650,000	2,250,000
③ 合計コスト ①+②	12,400,000	1,650,000	1,650,000	15,028,000
前年度比（％）		13.3%	100.0%	910.8%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	12,400,000	1,650,000	1,650,000
④ 活動一単位当たりコスト	729,411.8	#DIV/0!	#DIV/0!	751,400.0
前年度比（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は、イベントの中止により事業費が減少となります。 令和4年度は、イベント開催のため増額なる予定です。			

(3) 活動指標	指標名	有料出展者数			単位：	店
	指標説明					
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
		17	0	0	20	

(4) 成果指標	指標名	産業祭来場者数			単位：	人	評価：	+
	指標説明	イベント2日間の来場者数						
	目標値の設定方針	前回実績値を参考						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値	60,000	62,000	15,000	30,000			
実績値	62,000	0	0					
達成度（％）	103.3%	0.0%	0.0%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
新型コロナウイルス感染症拡大により開催することができませんでした。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
新型コロナウイルス感染拡大により2年間中止となったことなどから、産業祭への出展意義が企業間で薄れつつある。市内企業に出展することに意義が感じられるような新たな事業展開が求められており、産業祭の見直しが必要です。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名
市内の産業を広く市民に認識してもらうための方法のひとつとして長年開催しているが、企業の発展・地域振興を図るイベントになるよう中身の見直しを行っていきます。	
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-31	地方消費者行政活性化事業	担当課	産業課
			作成者	加納将大
施策体系	総合計画上の施策名	48	防犯対策・交通事故防止対策の推進	
	施策名（評価単位）	(25)	産業課事務の執行	

2. 事務事業の目的	消費者意識啓発を実施し、健全な市民生活と消費者の権利を守ります。
------------	----------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	市民への啓発活動として、啓発グッズの配布など実施 梅山大学と連携した、啓発活動を実施 研修参加旅費

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	519,145	800,000	778,800	816,000	
② 人件費	450,000	450,000	450,000	450,000	
③ 合計コスト ①+②	969,145	1,250,000	1,228,800	1,266,000	
前年度比（％）		129.0%	98.3%	103.0%	
財源内訳	国・県支出金	259,575	400,000	386,900	408,000
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	709,570	850,000	841,900	858,000
④ 活動一単位当たりコスト	16,152.4	18,382.4	17,554.3	19,476.9	
前年度比（％）		113.8%	95.5%	111.0%	
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	R4年度は、研修の増加による増額				

(3) 活動指標	指標名	相談件数				単位：	件
	指標説明						
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
		60	68	70	65		

(4) 成果指標	指標名	相談件数				単位：	件	評価：	+
	指標説明	消費生活相談件数							
	目標値の設定方針	過去3年間の実績値の平均							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	60	71	64	65				
	実績値	60	68	70					
達成度（％）	100.0%	95.8%	109.4%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
相談事案が複雑化している中、高齢消費者被害防止モデル事業の実施により、高齢者の消費生活問題に対する意識改革を図ることができました。また、高齢者が抱える消費生活の問題点を把握することができました。市民への啓発・周知の徹底化が必要であります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
新型コロナウイルス感染症の影響で、相談員による公演等を行うことが難しい状況となっており、その他の方法で、市民への啓発・周知を強化する必要があります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤 裕之
消費者の生活相談は、年々増加傾向にあり、内容も複雑化しています。国県も取り組んでいる中で市の相談室は市民にとって一番身近なところとして引き続き相談業務を強化していきます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 **3** 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-32	以安寺山維持管理事業	担当課	産業課
			作成者	上仲秀典
施策体系	総合計画上の施策名	39	景観・公園等の整備	
	施策名（評価単位）	(25)	産業課事務の執行	

2. 事務事業の目的	以安寺山の維持管理を行うことにより、以安寺山の適正な維持管理を図ります。
------------	--------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	-	0	0	700,000
② 人件費	-	0	0	2,400,000
③ 合計コスト ①+②	0	0	0	3,100,000
前年度比 (%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	0	0	0
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	775,000.0
前年度比 (%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	山林内の下刈・草刈の回数			単位:	回
	指標説明	山林内の下刈・草刈の回数				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値					4

(4) 成果指標	指標名	山林内下刈・草刈の回数			単位:	回	評価:	+
	指標説明	山林内下刈・草刈の回数						
	目標値の設定方針							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値					4		
	実績値							
達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes		No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes		No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes		No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes		No		

5. 評価・課題	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	31-33	親水公園維持管理事業	担当課	産業課
			作成者	川端祐美
施策体系	総合計画上の施策名	39	景観・公園等の整備	
	施策名(評価単位)	(25)	産業課事務の執行	

2. 事務事業の目的	公園の管理を行うことにより、公園の適正な維持管理を図ります。
------------	--------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	公園内の清掃業務 ほたるの里公園トイレの清掃業務 パーベキュー施設の維持管理 3基 東屋の維持管理 2棟

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	1,402,566	1,826,536	1,664,265	1,654,000
② 人件費	825,000	375,000	375,000	375,000
③ 合計コスト ①+②	2,227,566	2,201,536	2,039,265	2,029,000
前年度比		98.8%	92.6%	99.5%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,227,566	2,201,536	2,039,265
④ 活動一単位当たりコスト	10,761.2	10,483.5	9,804.2	9,754.8
前年度比		97.4%	93.5%	99.5%
⑤ コストに関する増減理由				

(3) 活動指標	指標名	公園・トイレ清掃実施回数				単位:	回
	指標説明						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	207	210	208	208		

4. 評価・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・委託料は年度毎に委託契約を結ぶため、人件費の高騰に影響されます。 ・地元や使用者から、草刈りをして欲しいとの要望が多くあります。 ・使用者の増加に伴い、トイレや水周りの故障が発生しています。 ・アウトドアブームに伴い、BBQを目的とした来客が増加し、ゴミ問題が発生しています。

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<ul style="list-style-type: none"> ・現在予定している清掃実施回数では不十分である可能性があるため、これまでの定期的な実施ではなく公園の利用状況等を鑑みて、実施回数を決定します。 ・「ゴミを捨てない」「施設を大切に使用する」旨を呼びかける看板を作成し、設置します。 		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	佐藤裕之
<p>農村環境整備を推進します。 今後も、経費削減を推進していきます。</p>		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------